

みずほ銀行によるアストロスケールへの出資について ～清水建設を価値共創パートナーとする宇宙産業の持続的な発展への支援～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、スペースデブリ（宇宙ごみ、以下「デブリ」）除去を含む軌道上サービスに取り組む株式会社アストロスケールホールディングス（創業者兼 CEO：岡田 光信、以下「アストロスケール」）に 10 億円の出資（以下「本出資」）を行いました。本出資は、価値共創の取り組みの一環（※1）で、総合的な宇宙ビジネスに取り組む清水建設株式会社（社長：井上 和幸、以下「清水建設」）を価値共創パートナーとして実施したものです。

アストロスケールが行う軌道上サービス（※2）は、デブリによる衛星運用者にとっての事業リスクを低減し、今後の持続的な宇宙利用に必要不可欠な基盤インフラとなるものです。デブリ問題という世界規模での重要な社会課題に対して、アストロスケールは、2030 年までに軌道上サービスを日常的な活動にすることを目指しており、本出資で調達した資金は新規案件への投資に活用されます。

清水建設は、“総合宇宙企業”として、宇宙ビジネス新時代のリーダーとなるべく、小型衛星打上げから衛星データ解析、将来的な月面インフラの建設に至るハード・ソフト両面の事業化を目指し、取り組んでいます。

また、当該事業を成功させるために解決すべき根源的課題の一つであるデブリの除去等の実現に向け、アストロスケールに対し出資を行っています。

みずほ銀行は、本出資を通じてアストロスケールが取り組む軌道上サービス事業のスケール化を後押しし、宇宙環境整備に貢献していきます。また、総合金融グループとして新たなファイナンス領域の模索や宇宙事業の成長に向けたパートナー企業の探索・顧客ネットワークの構築等に取り組み、宇宙産業の持続的な発展の一翼を担うことに挑みます。

〈みずほ〉は、お客さまの価値共創パートナーとして更なる真価を発揮することを通じて、次世代の有望産業・企業の育成に貢献し、持続的に発展する未来を創っていきます。

アストロスケールは、長期的かつ持続可能な宇宙利用の実現のため、革新的な技術開発やビジネスモデルの確立とともに、デブリ低減に向けた国際的な法規制の議論への参加等に取り組んでいます。

清水建設は、宇宙開発を未来に向けての“シミズ・ドリーム”の一つとして位置づけ、長年にわたり取り組んできました。フロンティア事業として人類の活動領域を〔陸〕から〔海〕へ、〔地球〕から〔宇宙〕へと広げ、地球・人類の持続的な発展に貢献していきます。

※1 2023年2月15日付プレスリリース「価値共創に向けた取組みの強化について」
https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230215release_jp.pdf

※2 軌道上サービス：軌道上に存在する人工衛星等の物体に対して行うサービス。アストロスケールでは、軌道上で増加し続けるデブリの低減・除去策として、衛星運用終了時のデブリ化防止のための除去、既存デブリの除去、寿命延長、故障機や物体の観測・点検に取り組んでいる。

【アストロスケールの概要】

会社名：株式会社アストロスケールホールディングス
所在地：東京都墨田区錦糸 4-17-1
代表者：創業者兼 CEO 岡田 光信
設立：2013年5月
URL：<https://astroscale.com/>

【清水建設の概要】

会社名：清水建設株式会社
所在地：東京都中央区京橋 2-16-1
代表者：取締役社長 井上 和幸
創業：1804年
URL：<https://www.shimz.co.jp>

以 上